

今年四月、母校本庄高等学校には、平成二十五年度から生まれ変わる「単位制進学高校の三年生になる生徒」が入学しました。また、単位制進学高校の基本計画もようやく出来上がり、その具体化に向けての取組みもすすめられています。

新しい本庄高校では、①向上心や探究心をもち、高い目標に向かってチャレンジする生徒。②基本的な生活習慣や集団の規律を身に付け、自ら考え、自ら行動できる生徒。③他者と協調、協力してよりよい社会を築くりーダーとなる生徒の育成をめざしています。個性を伸ばし、世界にはばたく



同窓會

訪秀一

身に付けやすくなります。單位制とは、めざす進路にあつた多様な学習を少人数にして実現することで、多様な仲間関係の構築は勿論、本高では、生徒による地元小・中学校との交流や、大学・企業・研究機関などとの連携も図り、視野の広い交流や、課題意識を大切にした指導を重視しています。また、「時を守り、場を清め、礼を正す」を自律心深化の基本にすえています。今、生徒に本当の学力をつける高校に生まれ変わろうとしている母校本庄高等学校への、ご支援ご協力よろしくお願ひ致します。

リーダーの育成をはかると  
いうことです

そのため来年度から、教  
室の模様を変えをし、新しい  
図書館棟を建設し、設備の  
充実した特別教室棟にした  
りして、基礎的な学力とともに  
もに単位制の特徴を生かし  
て応用力や発展的な学力を

生まれ変わる母校をよろしく

# 柏 溪

題字  
相川徳平（旧中1回卒）  
発行  
県立本庄高校同窓会  
会長 諏訪秀一  
事務所 〒367-0025  
本庄市西五十子430-1  
TEL 0495(21)4753



# 雪の旧制中学校本館



「想」 3年 野本 由佳  
平成23年6月18日～19日  
書道部校外展（本庄市民文化会館）に出品した作品です。

平成二十三年度	事業計画	会報第42号発行
各月一回定例役員会	学校公開授業参観	部活動見学
4月 母校入学式に出席	育英資金助成金贈呈	
5月 会計監査	支部長会新年会開催	
6月 通常総会開催	新会員へ会費納付書	
7月 部活動への応援	配布、同窓会入会式	
8月 母校へ助成金の贈呈	新理事委嘱式	
柏樹祭見学	母校卒業式に出席	
9月	1月	10月
	2月	
	3月	

柏陵消息

## 伝統と躍進



本校は、大正十一年（一九二二年）に県内五番目の公立中学校として前身である本庄中学校が開校し、今年で九十年目を迎えました。多くの卒業生が、「県北の雄たる本庄高校」で学び、社会の様々な分野で大いに活躍されています。昨年度赴任して以来、地域の方々とお会いするたびに「私は本庄高（本庄中）の卒業生です。」と中学校、高校時代のことを持かしげにお話しされ、九十年の伝統の重さを改めて感じるとともに、本校に対する期待と励ましを頂きました。

この輝かしい伝統を引き継ぎさらに大きく躍進を図るため、本校は平成二十五年度に進学重視型の単位制に移行します。大学への合格力を高めることは勿論ですが、単に大学入学を目的とするのではなく、将来的方向性を見いだし、大学で

③学ぶ力の基礎を確立させることと、時間」を第一学年で二時間設ける。

④教室棟、特別教室棟、管理棟の大規模改修を行う。

⑤図書館棟を新築する。一階は図書館、二階は一つの学年（三百二十名）が同時に講義を受けられるセミナーホール。

⑥制服を制定する。

さらに詳細な内容について検討し、研修・研究に取り組んでいるところです。

同窓会員の皆様のご期待に応えられる本庄高校となるよう取り組んでまいります。引き続き本校教育活動に対しましてご理解とご支援を今後ともお願い申し上げます。

結びに、同窓会員の皆様のご健勝と同窓会の益々のご発展をご祈念申し上げます。

学び、研究を深める力の源をしっかりと身につけることをを目指し、「本当の学力をつける高校」としての授業を中心とした充実した教育活動を開拓したいと考えております。現在までに決まっていることは次のとおりです。

部活狀況

母校近況

三年目にして部に昇格する予定です。

四名、三年生一〇名の計二五名の部員数です。三年生の頑張りが在ったからこそその昇格です。春の学校総合体育大会は予選リーグを突破し、決勝トーナメントに進出する。組み合わせに恵まれず、優勝チームの本庄第一高校と一回戦目で対戦し敗退するも、県ベスト一六となる。夏休みの部活動体験で五名の参加者が来た。今は関東大会に通じる選手権大会を目指して練習に励んでいます。三年生の引退もあり、厳しい状況ですがベスト八を目指して頑張ります。

昨年までは、女子ではシングルス、ダブルス、団体戦と、いずれも各県北大会で勝ち上がり、常に県大会出場を果たしてきました。団体戦では一回戦突破の目標はすでに果たし、二回戦勝利を目指して、こぼごぼです。男子の成

卓球部

シングルス、ダブルス、団体戦と、いずれも各県北大会で勝ち上がり、常に県大会出場を果たしてきました。団体戦では一回戦突破の目標はすでに果たし、二回戦勝利を目指していたほどでした。男子も敗者復活戦まで勝ち進み、もう一步というところまでけていました。

今年度は残念ながら、県大会出場は果たしてませんが、男子十四名、女子八名で從来のよう、県大会出場に向け活動中です。

◆硬式テニス部  
男子は現在二四名（二年生九  
名、一年十五名）で活動してい

## ◆硬式テニス部

男子バレーボール部は、県大会出場の常連校となつて七年がたちました。県大会出場まであと一歩という年もありました。今年度、新入生九名の精銳が入部し勝負への基盤が整つてきました。県北に本庄高校ありと名前を轟かせたいと思います。

女子バレーボール部も元気で活躍しています。

女子バスケットボール部は四月の関東予選では県北ベスト四に入り、県大会出場を果たすことができました。現在は三年生が引退し、二年生八名、一年生九名で日々の練習に励んでいます。十一月の新人大会に向けて更にレベルアップしていくたいと思っています。

男子バスケットボール部は、三年生九名が引退し、二年生二名、一年生六名、マネージャー一名の九名で活動しています。人数が少なく紅白戦もできませんが、基本を中心に戸塚大会出場を目標として練習に取り組んでいます。

## ◆バスケットボール部

◇陸上部

「切磋琢磨」するだけではなく、自分自身と向き合い、「切磋琢磨」することを前提としています。全員が部員である前に、本高生であること、「自主・自律」の姿勢が大切と感じているからです。自分をそれぞれが磨くこと、が、部を磨く前提です。

文化部

△物 理 部  
本校の理科関係の部活は物  
理・生物・化学・地学と四つに  
分かれていて、少人数の部  
活が多いです。物理部も毎年少  
人数で、今は三年生二名、二年  
生一名、一年生三名で活動して  
います。

物理部

六ノ黒　　 $\times$  十ノ節に物

書道部

一年生七名、二年生七名の一年生で活動しています。六月には本庄市民文化会館にて校外展を行い、多くの方々にご高覧いただきました。また埼玉県硬筆展では推薦賞・特選賞等多数の書道部員が受賞しました。

文化祭北浦和の近代美術館での高校書道展書き初め展・二月に本庄市役所にての作品発表等その時その時に全力で作品制作に取り組みたいと思つています。

△美術部　来年へつながる手応えのある演奏ができました。

「一二年部員十名と三年有志で活動をしています。一月の「はんが甲子園」では惜しくも「補欠」でした。今年は初めて「ファッショントーク」に挑戦しました。

現在は文化祭の準備中です。次は高校美術展と「はんが甲子園」、二月の校外展「如月展」とメニューが揃い、毎日忙しく楽しく活動をしています。

現在、一年生十八名・二年生十六名とマネージャー四名の三八名で活動しています。近年、私立高校が野球に力を入れており、県立高校が大会で一勝をする事は、並大抵の努力では難しくなつてきていると想います。そのような状況の中です。

（科学展）の出展申請書は、  
発表資料作成のためにいつでも夜  
遅くまで頑張っています。もしも夜  
で、昨年まで四年間連続で北部  
地区展で優秀賞を受賞し、県大  
会である中央展に出品できてい  
ます。今年こそは中央展で上位  
入賞し、全国展に参加すること  
を目指したいと思います。

## 昨年度進路実績及び今年度の取組み

### 1 平成23年度進路概況

#### (1) 過去5年間の進学者実績の変化

	平成19年度入試	平成20年度入試	平成21年度入試	平成22年度入試	平成23年度入試
国公立4年制大学	16(10)	12(8)	12(9)	11(8)	18(15)
私立4年制大学	195(156)	183(164)	193(175)	220(188)	187(163)
国公立短期大学	0	0	0	0	0
私立短期大学	28(28)	28(28)	28(28)	17(17)	21(20)
専修・専門学校	80(79)	79(79)	66(63)	64(64)	82(81)
公務員・就職	8(8)	3(3)	8(8)	4(4)	5(5)
現役総計人數	321	321	327	325	323
4大現役進学数	166	172	184	196	178
4大現役進学率%	51.7	53.6	56.3	60.3	55.6
浪人他	40	39	44	44	36
浪人率%	12.4	12.1	13.5	13.5	11.3

#### (2) 現役生の大学・短大入試形態別進学状況

\* ( ) は昨年度進学者数

	指定校推薦	公募推薦	一般入試	合計
4年制大学	34(43)	26(29)	118(124)	178(196)
短期大学	6(4)	10(7)	4(6)	20(17)

#### (3) 大学入試センター試験出願者数の推移

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
志願者数	155人	176人	187人	195人	201人
(率)	48%	55%	57%	60%	63%

#### ○主な大学指定校への進学者 ( ) 内の数字は人数

立教大(法)、芝浦工業大(工2、システム理工2)、中央大(経済)、専修大(経済)、東洋大(経済、法)、獨協大(経済2)、武藏大(経済2)、成城大(経済)、女子栄養大(栄養2)等の大学

#### ○公募推薦・AO入試進学者

公募制・AO:埼玉県立大4、高崎経済大、群馬大、日本女子大、東京農業大、東邦大、駒沢大等

#### ○現役一般入試進学者

\*今春合格した国公立大学

埼玉大2、群馬大2、山口大、埼玉県立大4、高崎経済大4、群馬県立女子大、前橋工科大2、島根県立大、山梨県立大

\*主な私立大学の合格者数(現役合格者4名以上の大学)

工学院大5、國士館大7、駒沢大7、芝浦工業大9、城西大4、駿河台大学4、聖学院大学4、専修大7、大東文化大22、高崎健康福祉大学4、拓殖大4、千葉工業大学7、帝京大8、東京家政大6、東京電機大5、東京福祉大10、東洋大45、獨協大7、日本大21、法政大4、立正大学190

#### ○浪人・未定 36

氏定併女女女女女女女女中中高高高高高高高  
名不491高併21191713102318623836333231302217  
明後桜11高塚茂鶴坂内茂河会高落小持井一黒一枝東村  
藤井今下橋木本木飼本田木田橋合林田上ノ沢瀬瀬  
名正春井山静典菊美代喜徳真祥郁吉利以佳浩敬修明民  
昭彦和恵枝子野夫英実之乃昭光子卓子一子子  
子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子  
齊藤みよ子篠崎荻野山川内藤口田藤  
静江博士慶和勇明

終身会費納入者芳名

平成二十二年度

**会費納入についてのお願い**

同窓会では、母校の充実発展に寄与するとともに、会員相互の親睦向上を図ることを目的に努力しておりますが、基礎財源は**終身会費(一万円)**、**同窓会報毎年配付**、及び**年会費(千円)**であります。

会費未納の方のご協力を何卒お願い申し上げます。納入の際には必ず同封の振込用紙をご使用ください。なお念のため加入者名・口座番号をお知らせ致します。

皆様の参加をお待ちしております。	於埼玉グランドホテル本庄
午後三時より	②新年会・支部長会
六月十六日(土)	二月二十五日(土)
午後三時より	①新年会・支部長会
六月十六日(土)	六月十六日(土)
午後三時より	於五州園

加入者名	埼玉県立本庄高等学校
会員登録番号	六九四三五一〇〇一四〇

